

2024. 12. 10  
<配信枚数1枚>

報道関係 各位

**2025 年日本国際博覧会「ベストプラクティス」受賞！**  
**立命館大学カーボンマイナスプロジェクト**  
**～「TEAM EXPO パビリオン」ベストプラクティスエリアにて展示が決定～**

立命館大学カーボンマイナスプロジェクトが、公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会から大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を体現するプロジェクトに贈られる「ベストプラクティス」に選出されました。

ベストプラクティスは、世界の重要な課題を解決する良質なプロジェクトを発信するプログラムであり、大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」を体現する、実践的で世界各地で展開可能な、未来のために活用できる特に優れたプロジェクトを、世界中の応募から選定するものです。選定されたカーボンマイナスプロジェクトは、「TEAM EXPO パビリオン」のベストプラクティスエリアにて展示が予定されています。

**【カーボンマイナスプロジェクトについて】**

本プロジェクトは、2020 年 12 月に活動を開始。2021 年 7 月に TEAM EXPO2025 共創チャレンジに登録し、これまで 30 名以上の学生が参画しています。「バイオ炭のプラットフォーム形成により多様な事業者と共創し、カーボンマイナスを実現するための広報活動」に取り組み、バイオ炭の存在認知を拡大し、プラットフォーム形成の促進やカーボンマイナスの達成に挑戦しています。

本プロジェクトは、地域農業の振興（社会面）、地域の資源循環と経済活性化（経済面）、そして脱炭素・生物多様性保全（環境面）という 3 側面の社会課題の同時解決を目指します。地域農業における農産物の付加価値化や担い手不足解消、地方創生、そして、CO2 排出源である大量の未利用バイオマス（間伐材、剪定枝、放棄竹林 等）の処理および炭素クレジットによるカーボンオフセットの活用等を進め、今後は海外への展開も視野に活動しています。

**【依田祐一教授のコメント】**

今回のベストプラクティス選出は、TEAM EXPO 共創チャレンジプログラムへの登録以来、学生を含めた教職員との連携による活動が、より良い未来社会の実現に向けた具体的な取り組みとして評価された結果です。本プロジェクトを通じて得た多くの気づきを大阪・関西万博で共有し、脱炭素推進や地域経済の活性化による持続可能な未来づくりの一端を担うことを目指しています。

**【カーボンマイナスプロジェクトイメージ】**

カーボンマイナスプロジェクト <https://www.ritsumeikan-carbon-minus.org/>  
TEAM EXPO 共創チャレンジ <https://team.expo2025.or.jp/ja/challenge/169>  
ベストプラクティス選定 <https://www.expo2025.or.jp/news/news-20241118-01/>

本リリースの配布先：京都大学記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ、文部科学記者会

**●取材・内容についてのお問い合わせ先**

立命館大学広報課 担当：覚(かく) TEL.075-813-8300 Email. r-koho@st.ritsumei.ac.jp